



サステナブルな
明日を創る



2026/3期 決算説明資料

2026年6月
南海化学株式会社

東証スタンダード
(証券コード：4040)

I 2026/3期 決算概要

II 2027/3期 業績計画

2026/3期 決算概要

2026/3期 決算概要(対前年度比較)

会社課題

「採算改善」
「筋肉質化」
「成長戦略」
「人事戦略」

- 需要縮小の影響はありつつも、注力する環境リサイクル事業の取扱増、また会社課題である「採算改善」を目指し、適時適切な販売価格の改定に努め、売上高は**210.63億円**、前年比**+0.8%**
- 上述効果、並びに「筋肉質化」によりコスト増を抑え、営業利益 **17億円**、**+30.2%** (過去最高益)
当期純利益でも費用低減により子会社土地売却益が計画を上回り **27.76億円**、**+173.5%** (過去最高益)

(百万円)	2025/3期 実績		2026/3期 実績		比較	
		売上高比率		売上高比率	差	前年比
売上高	20,900	100.0%	21,063	100.0%	+162	+0.8%
化学品事業	16,346	78.2%	16,979	80.6%	+632	+3.9%
各種塩事業	4,553	21.8%	4,083	19.4%	△470	△10.5%
営業利益	1,306	6.2%	1,700	8.1%	+394	+30.2%
化学品事業	2,108	10.1%	2,472	11.7%	+364	+17.3%
各種塩事業	359	1.7%	308	1.5%	△51	△14.2%
調整額(全社費用)	△1,162	-	△1,081	-	+80	△6.9%
経常利益	1,456	7.0%	1,760	8.4%	+303	+20.8%
親会社株主帰属当期純利益	1,015	4.9%	※ 2,776	13.2%	+1,761	+173.5%
経常利益率	7.0%	-	8.4%	-	+1.4%	-
ROE	12.8%	-	※※ 28.6%	-	+15.8%	-

※子会社土地売却益(1,665百万円)を含む

※※子会社土地売却益を除くROE:12.5%

2026/3期 決算概要(対計画比較)

会社課題

「採算改善」
「筋肉質化」
「成長戦略」
「人事戦略」

- 会社課題である「採算改善」を目指し、適宜適切な価格改定に努めたものの、需要縮小、並びに京都支店閉鎖に伴う一部取引撤退減（戦略に則した選択と集中）を補えず、売上高は**210.63億円**、計画比下振れ（△**8.0%**）
- 上述「採算改善」、並びに「筋肉質化」により販管費を計画比減とし、営業利益では計画比未達なるも、**17億円**の過去最高益、一方、経常利益、当期純利益は**計画比プラスの達成**

(百万円)	2026/3期 計画		2026/3期 実績		比較	
		売上高比率		売上高比率	差	計画比
売上高	22,900	100.0%	21,063	100.0%	△1,837	△8.0%
化学品事業	18,360	80.2%	16,979	80.6%	△1,381	△7.5%
各種塩事業	4,540	19.8%	4,083	19.4%	△457	△10.1%
営業利益	1,800	7.9%	1,700	8.1%	△100	△5.6%
化学品事業	2,680	11.7%	2,472	11.7%	△208	△7.8%
各種塩事業	340	1.5%	308	1.5%	△32	△9.4%
調整額(全社費用)	△1,220	-	△1,081	-	+139	+11.4%
経常利益	1,750	7.6%	1,760	8.4%	+10	+0.6%
親会社株主帰属当期純利益	2,200	9.6%	※ 2,776	13.2%	+576	+26.2%
経常利益率	7.6%	-	8.4%	-	+0.8%	-
ROE	23.0%	-	※※ 28.6%	-	+5.6%	-

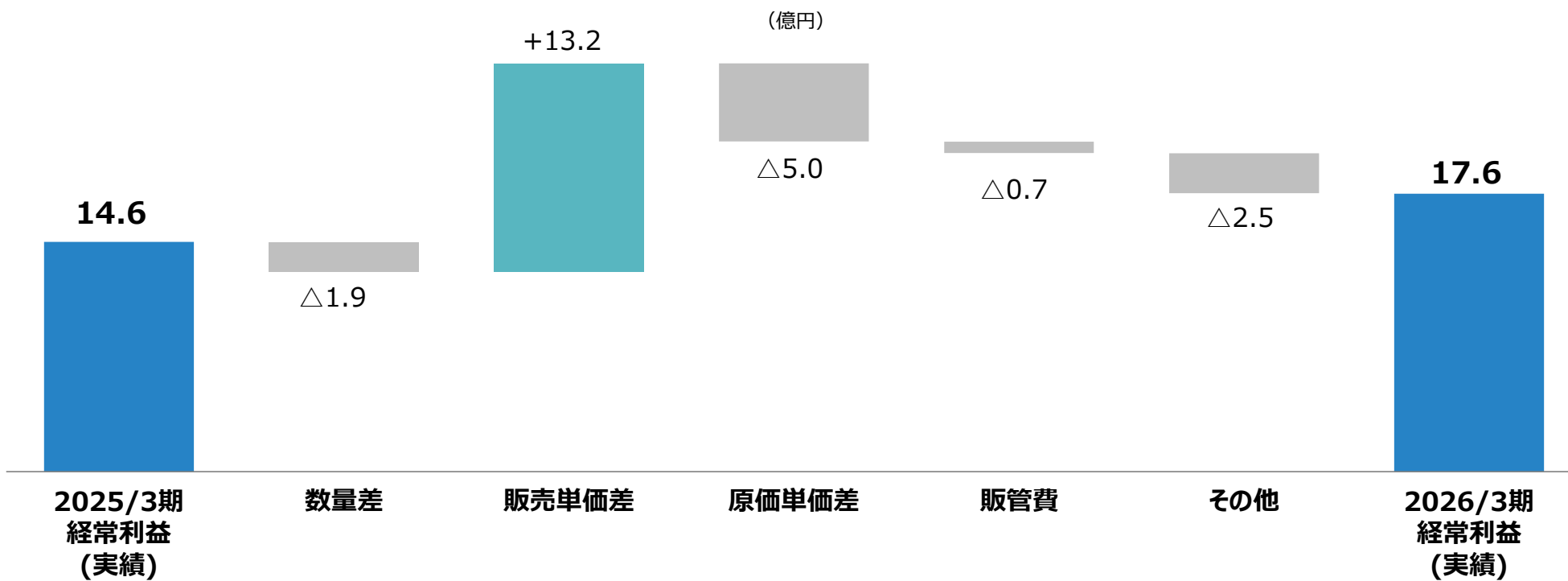
※子会社土地売却益(1,665百万円)を含む

※※子会社土地売却益を除くROE:12.5%

経常利益 増減要因分析(対前年度比較)

- 需要縮小の環境下、販売数量減となったものの、地場に立脚した販売体制強化、販売価格の一部是正により増益を達成

経常利益 増減要因

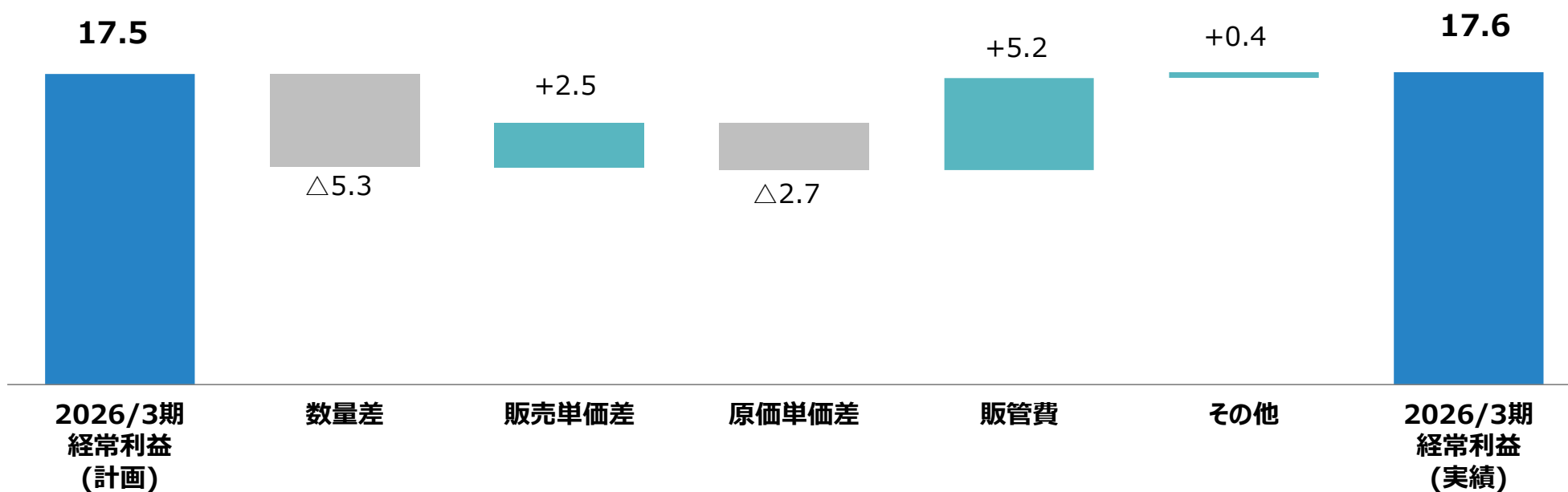


経常利益 増減要因分析(対計画比較)

- 需要縮小に起因する特に化学品事業の販売数量減や、物価上昇等による原価上昇のマイナス要因に対し、会社課題の解決に努め、販売価格の一部是正や販管費の圧縮をはかり、ほぼ計画並み

経常利益 増減要因

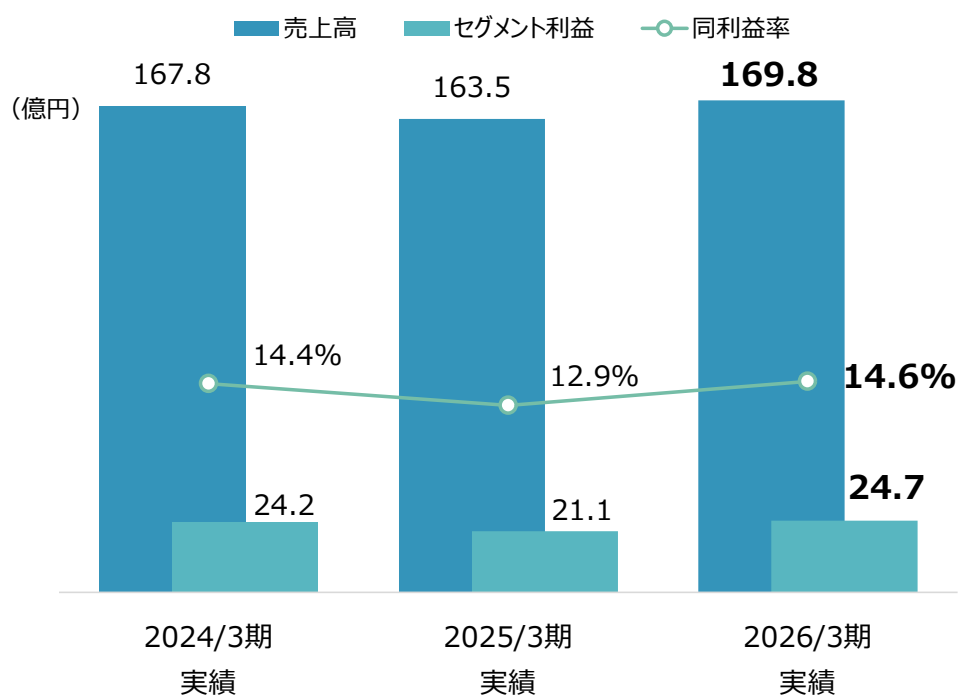
(億円)



セグメント別業績：化学品事業(対前年度比較)

- 売上高については、すべてのサブセグメントにて増収を達成
- 利益については、販売価格の一部是正、製造原価や販管費の削減に努め、増益かつ利益率も改善

業績推移



ポイント

[サブセグメント別売上高]

(億円)	2025/3期 実績	2026/3期 実績	増減額	増減率
基礎化学品	110.0	114.3	+4.3	+3.9%
機能化学品	13.2	13.5	+0.3	+2.3%
アグリ	22.4	23.7	+1.3	+5.8%
環境リサイクル	17.7	18.1	+0.4	+2.3%

基礎化学品：販売数量減も価格是正効果により増収

機能化学品：顧客ニーズに沿ったきめ細やかな販売に努め増収

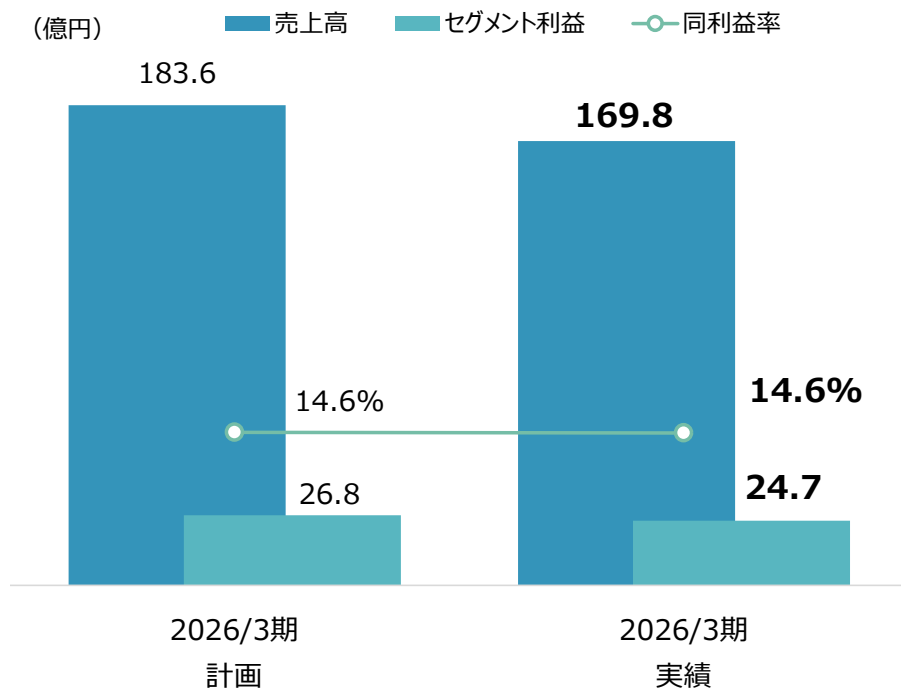
アグリ：前期の一部農作物の需要減がなく増収

環境リサイクル：新たな廃硫酸処理量の増加に伴い増収

セグメント別業績：化学品事業(対計画比較)

- 売上高は需要縮小、並びに戦略に則した取引の選択と集中により計画比減
- 販売価格の一部是正、製造原価や販管費の削減に努め、利益率は前期並みを確保

計画／実績



ポイント

[サブセグメント別売上高]

(億円)	2026/3期 計画	2026/3期 実績	増減額	増減率
基礎化学品	128.4	114.3	△14.1	△11.0%
機能化学品	13.6	13.5	△0.1	△0.7%
アグリ	23.7	23.7	△0.0	△0.3%
環境リサイクル	17.7	18.1	+0.4	+2.4%

基礎化学品：需要縮小、選択と集中により下振れ

機能化学品：ほぼ横ばい

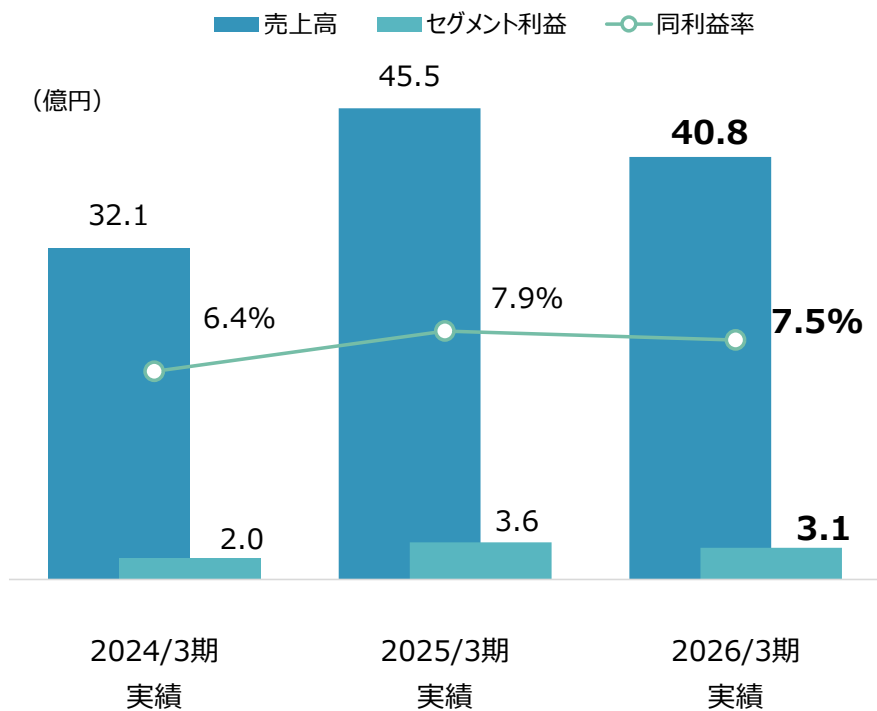
アグリ：ほぼ横ばい

環境リサイクル：廃硫酸取引が増加

セグメント別業績：各種塩事業(対前年度比較)

- 降雪量の影響により売上・利益とも前期比下振れ

業績推移



販売数量比較

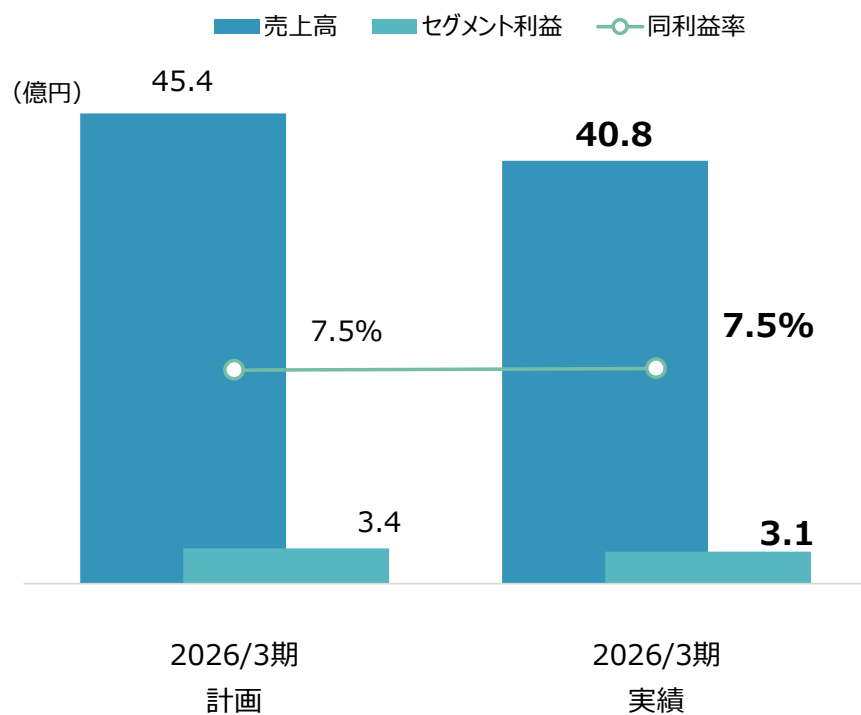
(単位：千トン)

	2025/3期実績	2026/3期実績	増減数量	増減率
販売数量	140.0	117.8	△22.1	△15.8%

セグメント別業績：各種塩事業(対計画比較)

- 降雹の影響による梅用塩の販売減に加え、降雪量の影響により売上高は計画比減となったが、製造コスト削減により利益率は計画並みを確保

計画／実績

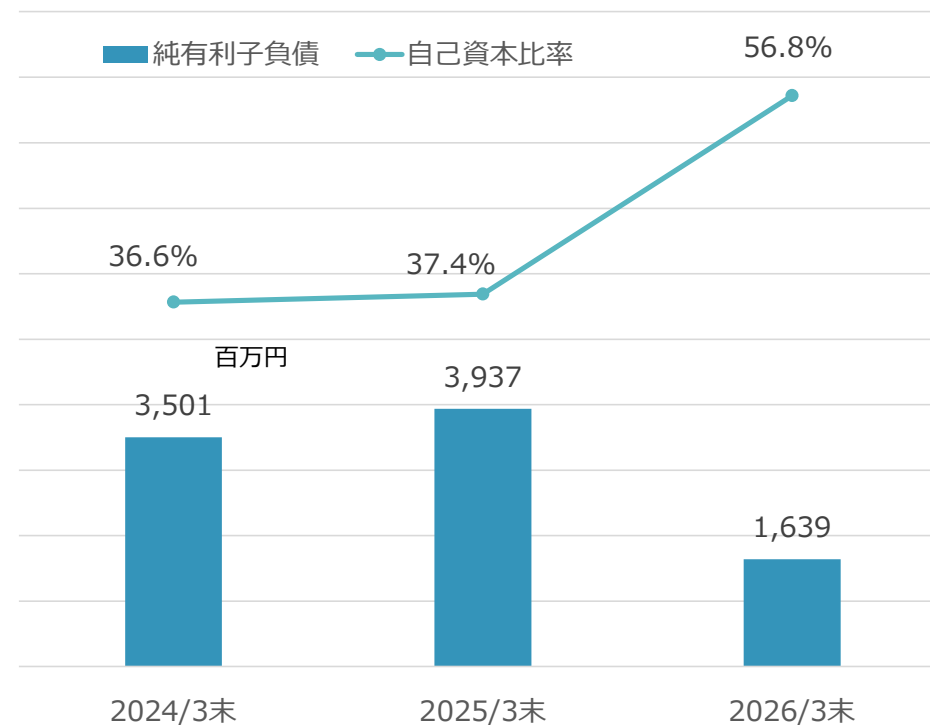


販売数量比較

販売数量	2026/3期 計画	2026/3期 実績	増減数量	増減率
	(単位：千トン)	132.7		

- 子会社土地売却(引き渡し)などにより、固定資産が大幅に減少
- 上記に伴い、有利子負債を大幅に削減。自己資本比率は前年度末比大幅に上昇

(百万円)	2024/3末	2025/3末	2026/3末	前年度末増減
流動資産	9,096	9,505	9,812	+306
現預金	1,710	1,703	2,040	+337
売掛債権	3,911	3,988	4,664	+676
棚卸資産	2,798	3,142	2,691	△451
固定資産	11,144	12,951	9,629	△3,321
総資産	20,258	22,471	19,454	△3,016
負債	12,756	13,967	8,283	△5,684
買入債務	2,624	2,325	1,698	△627
有利子負債 (借入金・社債)	4,734	5,230	3,323	△1,907
有利子負債 (リース債務)	477	410	356	△54
純資産	7,501	8,503	11,171	+2,667
負債及び純資産	20,258	22,471	19,454	△3,016

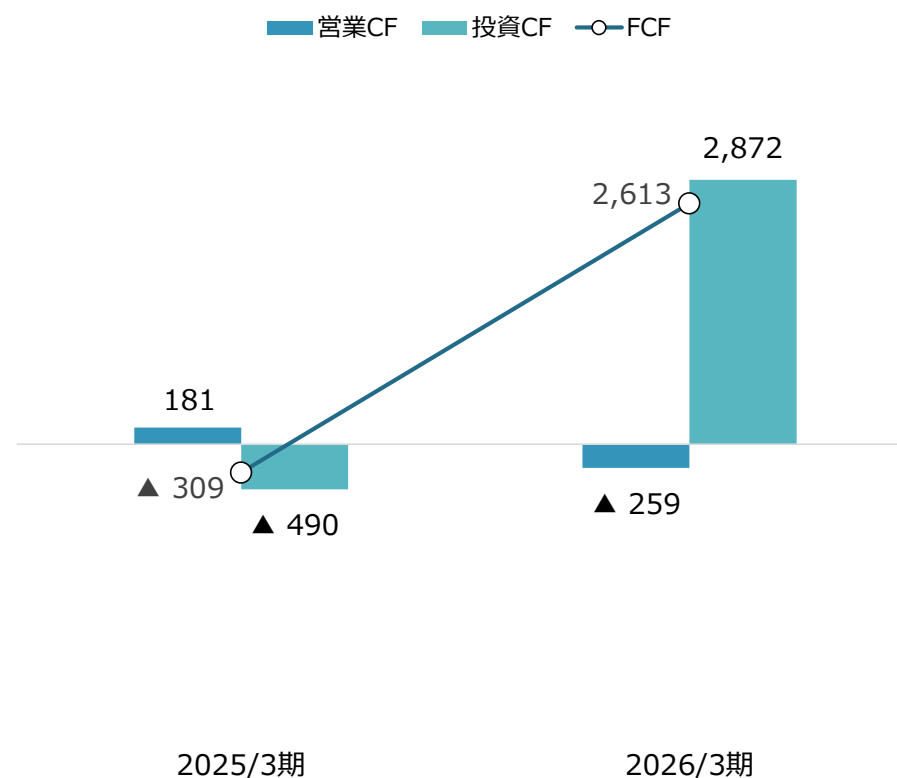


※純有利子負債：有利子負債－現預金

CFの状況

- 法人税支払が前期比増加等の影響で営業CFがマイナスとなったが、土地売却益の計上に伴い、投資CFは前年比大幅増加となり、FCFも前期比大幅プラス
- 売却で得たキャッシュで借入金圧縮を行いつつ、今後の投資に備え一部は内部留保に充当

(百万円)	2025/3期	2026/3期
営業CF	181	△259
税前当期利益	1,347	4,086
減価償却費	1,136	1,217
固定資産売却益	△15	△2,519
その他	△2,287	△3,043
投資CF	△490	2,872
固定資産取得	△2,043	△1,274
有形固定資産売却収入	1,500	4,110
その他	53	36
FCF	△309	2,613
財務CF	243	△2,305
借入金・社債増減	495	△1,907
自己株式の取得	-	△149
配当金支払額	△119	△131
その他	△133	△118
現金及び現金同等物の 期末残高	1,703	2,040



2027/3期 業績計画

2027/3期 業績計画(対処すべき課題)

会社課題
「採算改善」
「筋肉質化」
「成長戦略」
「人事戦略」

- 「採算改善」を継続的に追及、販売価格の適時適切な改定により、需要縮小や京都支店閉鎖に伴う一部取引の撤退減（戦略に則した選択と集中）を補う前年度比 **+3.0%の増収**を見込む
- 上述 + 調達ソース多様化によるコスト削減、電解稼働の最適化による製造原価の低減などの「筋肉質化」により、営業利益は **最高益を更新する23億円（+35.3%）**、当期純利益も実力値としての **最高益12.6億円**を目指す

(百万円)	2025/3期	2026/3期	2027/3期 計画	前年比較	
				差	変化率
売上高	20,900	21,063	21,700	+637	+3.0%
化学品事業	16,347	16,979	17,070	+91	+0.5%
各種塩事業	4,553	4,083	4,630	+547	+13.4%
営業利益	1,306	1,700	2,300	+600	+35.3%
化学品事業	2,108	2,472	3,400	+928	+37.5%
各種塩事業	359	308	360	+52	+16.9%
調整額	△1,162	△1,081	△ 1,460	△379	△35.1%
経常利益	1,456	1,760	2,340	+580	+32.9%
親会社株主帰属当期純利益	1,015	※ 2,776	1,260	△1,516	△54.6%
経常利益率	7.0%	8.4%	10.8%	+2.4%	—
ROE	12.8%	※※ 28.6%	12.5%	△16.1%	—

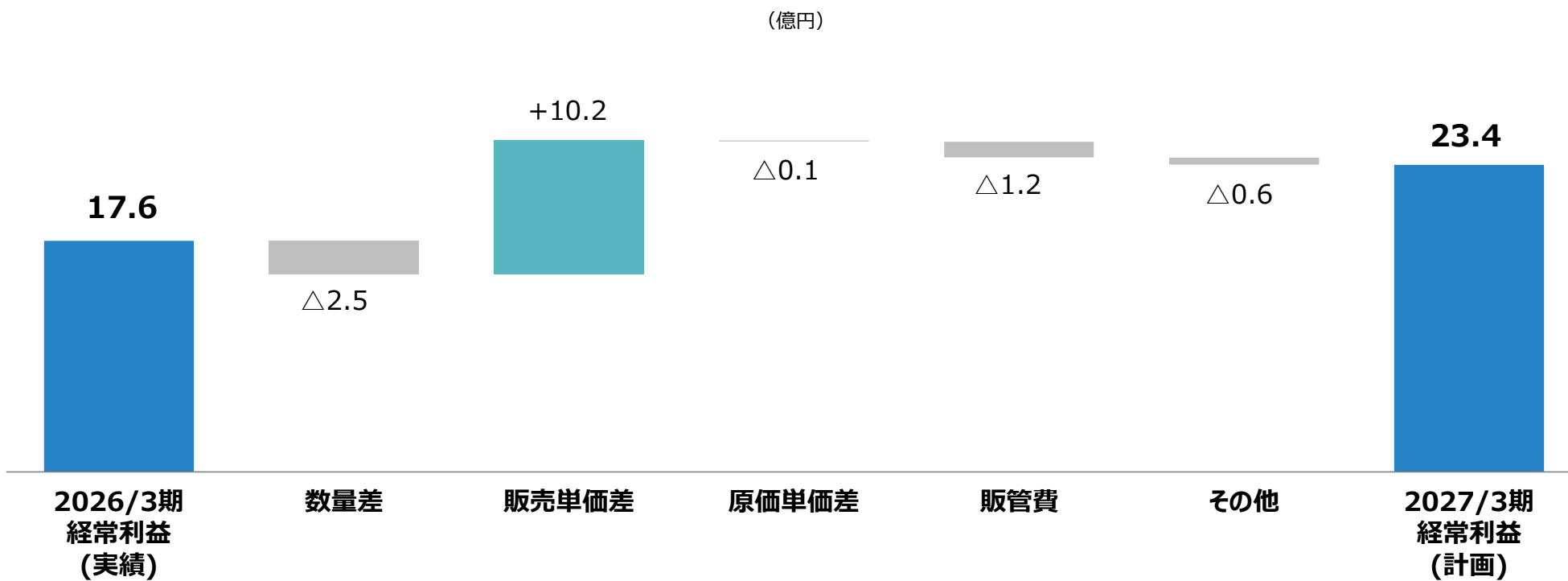
※子会社土地売却益(1,665百万円)を含む

※※子会社土地売却益を除くROE:12.5%

経常利益 増減要因分析

- 戦略に則した選択と集中に伴う数量減や、原価及び販管費の上昇を販売価格の是正でカバーし、増益を目指す

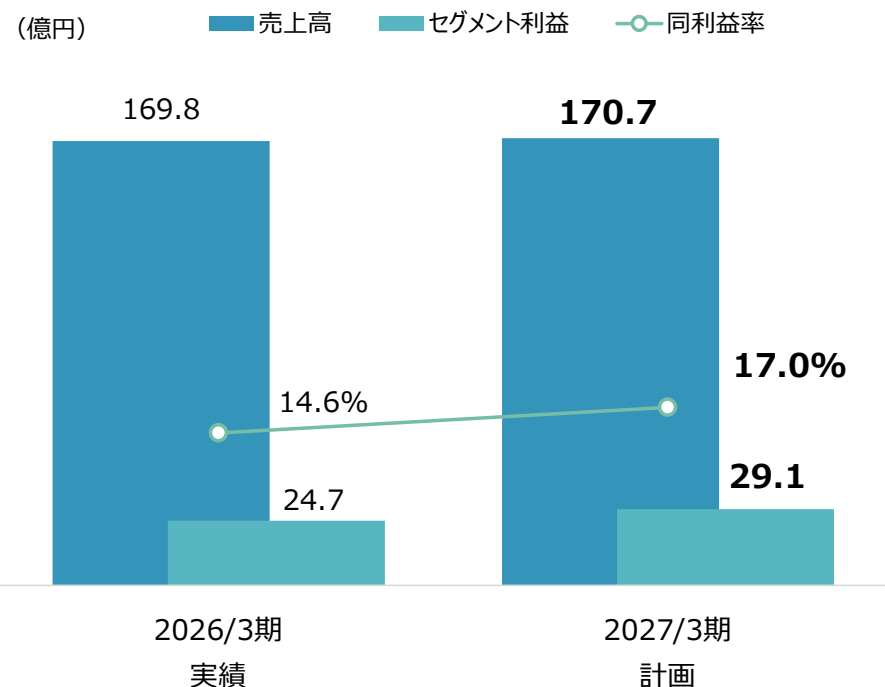
経常利益 増減要因



セグメント別計画：化学品事業

- 売上は微増も、調達ソース多様化によるコスト削減、電解稼働の最適化による製造原価の低減などの「筋肉質化」により、増益を目指す

実績／計画



ポイント

[サブセグメント別売上高]

(億円)	2026/3期実績	2027/3期計画	増減額	増減率
基礎化学品	114.4	114.6	+0.2	+0.2%
機能化学品	13.5	12.7	△0.8	△5.9%
アグリ	23.7	24.5	+0.8	+3.4%
環境リサイクル	18.2	19.1	+0.9	+5.0%

基礎化学品：適正価格の維持及び一部是正を見込む

機能化学品：需要減に伴い売上微減

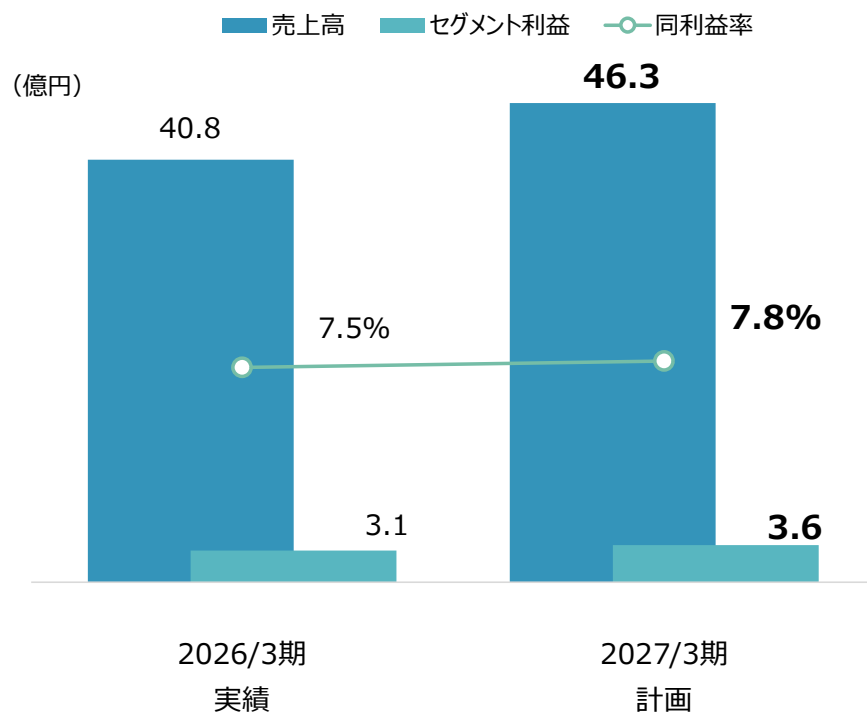
アグリ：クロピク錠剤等販売増

環境リサイクル：廃硫酸受入処理量増加等

セグメント別計画：各種塩事業

- 適正販売価格の維持に努めつつ、販売数量増を見込む。

実績／計画



ポイント

[サブセグメント別売上高]

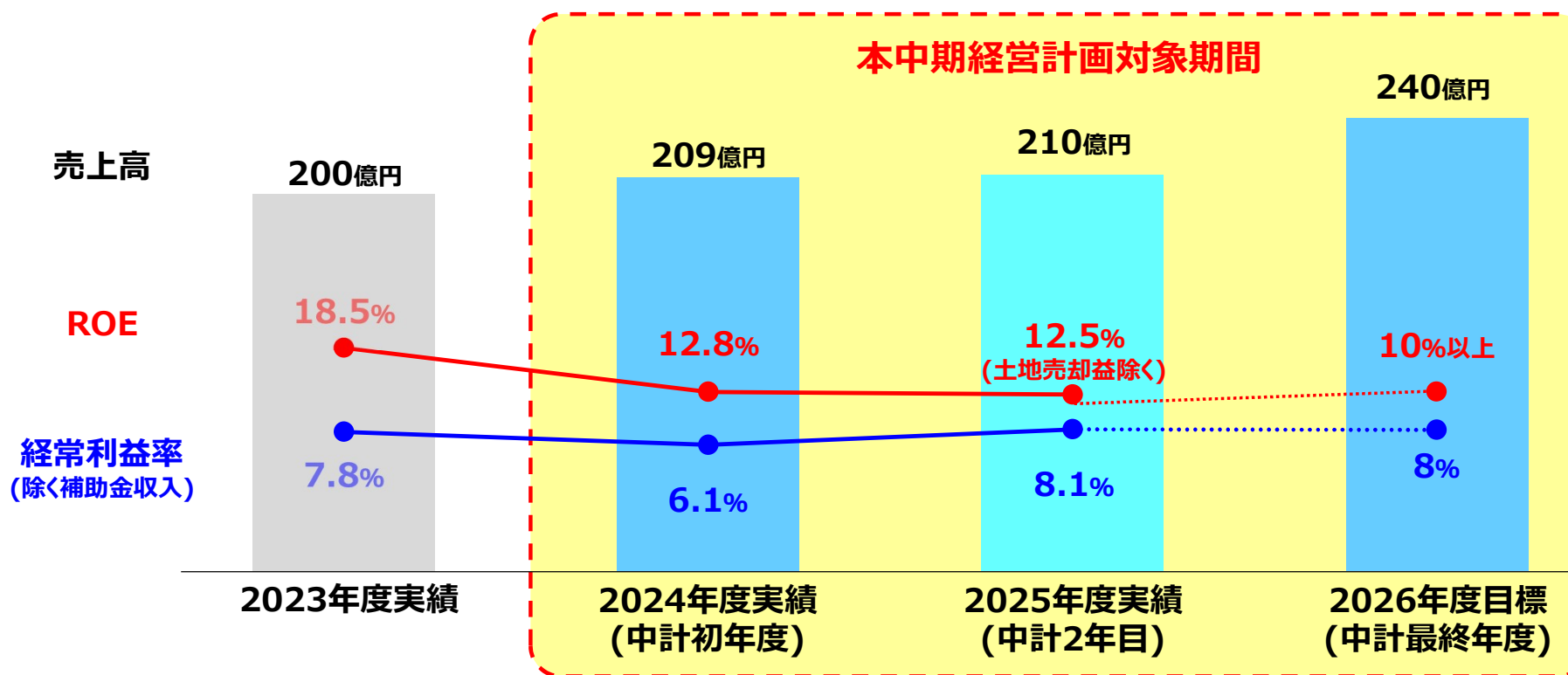
(億円)	2026/3期実績	2027/3期計画	増減額	増減率
各種塩事業	40.8	46.3	5.5	13.5%

中期経営計画の最終年度に向けて

中期経営計画

重点施策:①収益基盤の強化 ②環境リサイクル事業領域拡大 ③サステナブル経営推進
2026年度目標 : 売上高240億円、経常利益率8%、ROE10%以上

2026年度計画 : 売上高216億円、経常利益率10.8%、ROE12.5%
売上は難しいが、利益面での目標達成を目指す!

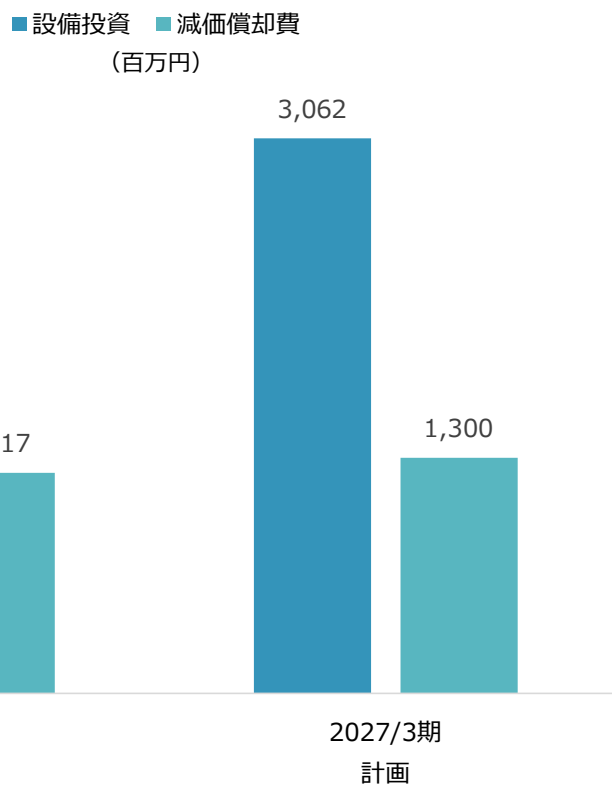


設備投資

- 引き続き、効率化等による収益力改善並びに持続的な製造体制強化に向けた維持・更新投資と成長投資を並行して推進

※ 下記「設備投資の額」(2027/3期計画)については投資確度の高いものについて記載。

設備投資、減価償却費



2027/3期設備投資計画のポイント

効率化投資	維持・更新投資	増産・新規事業投資
5億円	15億円	10億円

- ・製造基盤強化のための合理化、維持・更新投資を推進
- ・排水処理設備高度化に向けた設備投資実行
(南海ビックバンプロジェクト)

株主還元

- **2026/3期は60円（前期比5円増配）2027/3期は現時点で65円（前期比5円増配）を予定
今後も安定配当をベースとしつつ、配当額の増加および配当性向の向上を目指す**
- **2026/3期は当社初となる自社株買いを実施（40,700株/150百万円）
また、2026/3末時点の株主様を対象に株主優待制度を導入し、株主還元を強化**

	2024/3期	2025/3期	2026/3期	2027/3期見通し
一株当たり配当額 (中間/期末)	50円 (15円/35円)	55円 (20円/35円)	60円 (25円/35円)	65円 (30円/35円)
一株当たり利益	586.71円	505.79円	1,375.57円 (703.88円※)	624.14円
配当性向	8.5%	10.9%	4.4% (8.5%※)	10.4% (15.2%***)
自社株買い	-	-	40,700株 取得価額:150百万円	-
株主優待 (100株以上保有**)	-	-	-	3,000円相当 (**)

※子会社土地売却益除くベース

***1年以上3年未満継続保有が条件（導入初回時に限り、2026年3月末時点で100株以上保有、継続保有期間1年未満の株主様も対象
3年以上継続保有の場合、5,000円相当の当社事業所所在地特産品を贈呈

***上記株主優待(100株保有)を考慮した配当性向

< 見通しに関する注意事項 >

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

お問い合わせ先

経営企画部 企画・財務・IRグループ
TEL : 06-6532-5590 (代表)
Mail : ir4040@nankai-chem.co.jp